



# 八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報  
(令和6年4月15日) 第2号



学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」  
八鹿青溪中 HP

## 61名の新入生を迎えました～令和6年度入学式～

令和6年4月9日(火)、令和6年度八鹿青溪中学校入学式を行い、61名の新入生を迎えました。どの生徒も引き締まった表情をしており、これから始まる中学校生活に対する強い意欲が感じられました。

翌日からは、さっそく大きな声であいさつをしてくれる新入生と多く出会いましたし、新入生オリエンテーションでは、中学校に早く慣れようとする前向きな姿勢を見ることができました。61名の新入生の皆さん、八鹿青溪中学校への入学おめでとう！2・3年生とともにまた新しい八鹿青溪中学校を築きましょう



## 令和6年度入学式式辞

61名の新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんの引き締まった表情からは、「よし！やるぞ！」といった決意が伝わってきます。さあ、皆さんは、今日から八鹿青溪中学校の一員です。そこで、私から八鹿青溪中学校誕生の経緯やこの学校の校訓について話をしようと思います。

八鹿青溪中学校は、平成22年度、つまり、今から14年前に旧八鹿中学校と旧青溪中学校が統合して誕生しました。旧八鹿中学校は、現在の八鹿青溪中学校の建つこの場所に、そして旧青溪中学校は伊佐小学校の近くの円山川沿いにありました。「八鹿青溪中学校」という名前には、かつて八鹿にあった2つの中学校のそれぞれの良さをいつまでも残したいという強い願いが込められています。



池田草庵先生

次にこの八鹿青溪中学校の校訓についてです。式場の左側を見てください。

まずは「貫徹」。「貫徹」とは、自分の思いを変えずに最後までやり遂げることを意味した言葉です。中学校生活の3年間では、きっといろいろなことが起きることでしょう。しかし、常に前を向き、苦しくなったら、この「貫徹」という言葉を思い出すようにしてください。そして、頑張り抜いた喜びを何度も味わってほしいと思います。「貫徹」という言葉は、旧八鹿中学校で大切にされていました。

つづいて「慎独」です。これは、郷土の偉大な先人、池田草庵先生の教えとする言葉で、自分を見つめ、常に正しい行いをすること。つまり、誰も見ていない所でも心を正しく持つことが大切だという意味になります。人間は、人がいないことをよいことに、ついつい誘惑に負けてしまいそうになることがあります。そんな時には、この「慎独」という言葉を思い出すようにしてください。そして、良いことを率先して行う中学生になってほしいと思います。この「慎独」という言葉は、旧青溪中学校で大切にされていました。

最後に「創造」です。「創造」とは何かを創り出すこと、つまり、今までになかったものを、頭を使って新しく生み出すことを意味した言葉です。どうかこの「創造」という言葉を胸に抱き、皆さんの力で、また新しい八鹿青溪中学校の伝統を創ってほしいと思います。それが、この学校の発展につながるのです。

保護者の皆様、お子様の中学校ご入学、まことにおめでとうございます。これから



大切なお子様を、この八鹿青溪中学校でお預かりします。きっと、学習面、生活面ともに、ご心配は尽きないとは思いますが、何かお悩みの際には、遠慮なくご相談ください。

今や、成人年齢は20歳ではなく18歳です。ということは、中学校生活の持つ意味というのが以前よりも大きなものになっていることは言うまでもありません。保護者の皆様におかれましては、6年後のお子様の姿を常に念頭に置き、養父市、但馬、兵庫県、そして、日本の将来を担う力強い「大人」を、私たち八鹿青溪中学校の教職員とともに育ててまいります。

ご多用の中、ご臨席を賜りました養父市教育委員会齋藤恭子様にお礼を申し上げます。今年度も八鹿青溪中学校の生徒のために教職員一丸となって邁進することをここにお約束申し上げます。

妙見から吹き下ろす爽やかな風が、八木川の水面の光が、この八鹿青溪中学校のさらなる「飛躍」や「躍進」を強く予感させます。新入生の皆さんの中学校生活が、素晴らしいものになることを心から祈念し、式辞といたします。

令和6年4月9日 養父市立八鹿青溪中学校長 岩浅 克友希

## 新入生誓いのことば ※たいへん立派な態度で誓うことができました！！

柔らかく暖かな風に舞う桜とともに、私たち61名は、この伝統ある八鹿青溪中学校に入学することができました。僕たちのために、このような素晴らしい入学式を挙げていただいたことに、新入生一同感謝の気持ちでいっぱいです。今日から八鹿青溪中学校の生徒としての新しい生活が始まります。6年生登校で行動をともにした仲間と、生活できることに喜びを感じています。

さて、中学校生活では、小学校生活とは違い、新たな学習や部活動への参加など、環境が変化していきます。そのことに少しばかりの不安を感じますが、仲間と困難を乗り越え、共に成長していく姿を想像すると、これからの3年間は楽しみになり、期待に胸を膨らませています。この八鹿青溪中学校で共に学ぶ仲間たちと一步一步確実に歩みを進め、立派な中学生になれるよう精進していきたいと思えます。また、中学校では、「思いやる心」を大切に、八鹿青溪中学校の心得や規則を守り、仲間と共に充実した日々を送れるようにしていきます。

校長先生をはじめ、先生方、そして先輩のみなさん。本日より3年間お世話になります。「貫徹・慎独・創造」の校訓のもと、八鹿青溪中学校での学校生活を一生懸命頑張っていきますので、ご指導よろしくお願ひします。

令和6年4月9日 新入生代表 西谷 一真

## 令和6年度八鹿青溪中学校生徒数・学級数

今年度は全校生徒212名(4月15日現在)です。「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」を八鹿青溪校区小中学校共通の学校教育目標に定めるとともに、本校では、「『生徒が光り輝く学校』をめざして～地域を明るく照らす八鹿青溪っ子の育成～」を合言葉に頑張ります。八鹿青溪中学校の生徒及び教職員への温かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



	通常の学級			特別支援学級		計
	男子	女子	学級数	学習室1	学習室2	
1年	32	29	2			61
2年	31	39	2		3	73
3年	34	40	2	3	1	78
計	97	108	6	3	4	212

※令和5年度に比べると全校生徒数9名減ということになりました。今後も減少傾向が続く模様です。